

シリーズ構成

巻分けと特徴	大項目(章)	執筆者/監修者
第1巻 介護の理念・基礎知識 第1巻にまず理念を学習することで、学習すべき知識・在るべきかたちの大前提を理解する。「科目4：介護の基本」に「科目1：人間の尊厳と自立」を集約。 概算160ページ	1 介護福祉士を取り巻く状況	秋山昌江 (聖カタリナ大学人間健康福祉学部) 他
	2 介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ	
	3 人間の尊厳と自立/尊厳を支える介護	
	4 介護における尊厳の保持・自立支援/自立に向けた介護	
	5 介護を必要とする人の理解	
	6 介護サービス	
	7 介護実践における連携	
	8 介護従事者の倫理	
	9 介護における安全の確保とリスクマネジメント	
	10 介護従事者の安全	
第2巻 制度の理解 わが国の介護を取り巻く制度をまとめて学習する。「科目3：社会の理解」を中心に、他科目から認知症関連施策、住宅関連施策、障害関連施策もこの巻で学習。 概算300ページ	1 生活と福祉	二渡努 (前・日本福祉教育専門学校)
	2 社会保障制度	
	3 介護保険制度	原田欣宏 (高崎健康福祉大学)
	4 障害者自立支援制度	
	5 介護実践に関連する諸制度(認知症関連・住宅関連法規含む)	
第3巻 被介護者の理解(医学論) 各科目の医学分野をまとめて、解剖生理と病態生理を連続して学習。「科目9：認知症」と「科目10：障害の医学面」もこの巻で学習。 概算350ページ	1 人間の成長と発達の基礎的理解	木村久枝 (前・日本福祉教育専門学校)
	2 高齢者に生じやすい症状	白井孝子 (東京福祉専門学校) 他
	3 解剖生理と病態生理	片桐幸司 (群馬医療福祉大学)
	4 認知症の医学面の理解	小林康子 (群馬医療福祉大学)
	5 障害の医学面の理解	
第4巻 介護過程の理解 1～3巻で学んだ知識を実際に活用するための介護過程を学習。「科目2・5のコミュニケーション」も知識の活用ツールであるためここでまとめ、各科目で登場する多職種連携(リハビリ含む)もこの巻で学習。 概算140ページ	1 介護過程の意義	青木 宏心(目白大学 人間学部 人間福祉学科)
	2 介護過程の展開	
	3 コミュニケーションの基本	西井啓子(富山短期大学福祉学科) 他
	4 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	
	5 介護過程の実践的展開	青木 宏心(目白大学 人間学部 人間福祉学科)
	6 介護過程とチームアプローチ/多職種連携	
第5巻 介護各論① 4巻までを総論とし、5巻以降は実際に直面する介護場面を想定しての介護各論とする。「科目11：ところとからだのしくみ」と「科目6：生活支援技術」を完全に合致させ、援助の流れそのままに学習する。 概算150ページ	1 身じたくに関連したところとからだのしくみ/自立に向けた身じたくの介護	澤智之 (日本福祉教育専門学校)
	2 移動に関連したところとからだのしくみ/自立に向けた移動の介護	細野真代 (日本福祉教育専門学校)
	3 食事・家事に関連したところとからだのしくみ/自立に向けた食事の介護	山本みよ子 (浦和大学短期大学部 介護福祉学科)
第6巻 介護各論② 概要は同上 概算150ページ	1 入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ/自立に向けた入浴・清潔保持の介護	高木直美(日本福祉大学中央福祉専門学校)
	2 排泄に関連したところとからだのしくみ/自立に向けた排泄の介護	藤山利美 (日本福祉教育専門学校)
	3 睡眠に関連したところとからだのしくみ/自立に向けた睡眠の介護	高木直美(日本福祉大学中央福祉専門学校)
第7巻 介護各論③ 概要は同上 概算150ページ	1 認知症に関連したところとからだの理解/自立に向けた認知症の介護	片桐幸司 (群馬医療福祉大学)
	2 死にゆく人のところとからだのしくみ/終末期の介護	木村久枝 (前・日本福祉教育専門学校)
	3 その他の生活支援	

介護福祉士国家試験対策基本テキスト

1巻：ISBN978-4-86439-068-2 C3036

価格：2,000円+税

2巻：ISBN978-4-86439-069-9 C3036

価格：2,500円+税

3巻：ISBN978-4-86439-070-5 C3036

価格：2,500円+税

4巻：ISBN978-4-86439-071-2 C3036

価格：2,000円+税

5巻：ISBN978-4-86439-072-9 C3036

価格：2,000円+税

6巻：ISBN978-4-86439-073-6 C3036

価格：2,000円+税

7巻：ISBN978-4-86439-074-3 C3036

価格：2,000円+税

7巻セット：15,000円+税